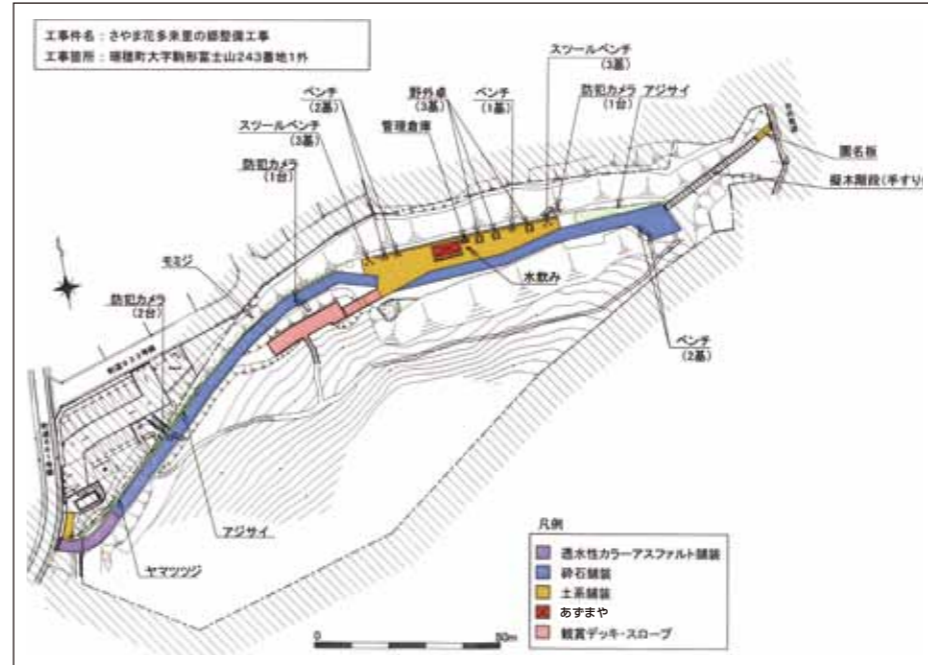


可決 さやま花多来里の郷整備工事請負契約を

誰もが楽しめる「さやま花多来里の郷」へ

みずほきらめき回廊の拠点として、さやま花多来里の郷を、高齢者や障がい者の方々も楽しめるよう、鑑賞デッキや園路、あすまやなどを整備するものです。



契約金額：8,586万円（落札率 99.6%）
契約相手：株式会社岡野組
工期：平成28年2月19日

Q 契約金額の内訳は。
A 園路広場工事費（鑑賞デッキ含む）2,400万円、給水設備工事費80万円、電気設備工事費（防犯カメラを含む）250万円、あすまや設置工事費755万円、野外卓・ベンチ等設置工事費645万円、植栽工事費62万円、その他、土木工事費700万円、工事管理費および消費税3,694万円。



3月中旬～4月上旬に見頃を迎えるカタクリの花

Q 1回目の入札が不調となり、2回目の入札では50万円しか下げていないのに応札業者となっている。結果、落札率が99.6%となったが、要因として何が考えられるのか。
A 工事内容に特色がなかったことが要因と考える。

Q 植栽についての計画は。
A 春にはカタクリやヤマツツジ、アジサイ。夏にはヤマユリやオミナエシ。秋にはヒガンバナやモミジの紅葉。そして冬にはフクジュソウや梅といったように、年間を通して楽しんでいただけていると考えている。

Q 高齢者や障がい者も楽しめるようにどのような工夫をしたのか。
A 車椅子でも近くで鑑賞できるよう、鑑賞デッキ、スロープを設置する。スロープは都の条例に基づき8%勾配にし、中間に踊り場を設け休憩できるような工夫もしている。また、障がい者用駐車スペースを上部のあすまや隣に2台確保し、対応する。

町政を問う



一般質問

12人の議員から18件の一般質問

一般質問とは？

議員が、町の一般事務に対してその執行の状況または将来の方針、政策的提言や行政への批判等を執行者に直接質問することです。

質問の範囲は、町の行財政全般のほか、地域の問題や住民生活に関わる事項など多岐にわたっています。



質問 町は、町民が地域でより快適に安心して住める環境づくりを目指すために、地域コミュニティ団体である町内会・自治会等と連携を図ることが不可欠である。また、災害時には地域の力である自主防災組織・消防団との連携が大事であると考えている。そこで、次の項目について伺う。

問① 町内会等の応援条例の制定は。

町長 自治法では、町内会・自治会は任意団体として位置づけられ、任意団体が数多く存在する中、特定の団体支援を条例化することは難しい。

問② 自主防災組織への今後の支援は。

町長 自主防災組織連絡協議会事業でのリ-



山崎 栄 議員（自民新政会）

地域を担う団体に更なる繋がりや支援を

町長 土砂災害警戒区域内の避難場所は、見直しを行うべきと考える

問③ 土砂災害警戒区域の避難場所の見直しは。

町長 住民不安を払拭するため、見直しを行うべきと考える。

問④ 災害時に備え、消防団詰所に太陽光発電システムを設置は。

町長 消防団詰所の改修計画にあわせ、国や都の補助金を活用し、消防団の意見などを伺いながら進めたい。



9月に行われた防災訓練の様子（殿ヶ谷地区）